

令和6年 日出町議会 3月議会

行政視察研修報告書

日出町議会 議会活性化特別委員会

- ・ 視察先 宮崎県宮崎市議会
- ・ 視察日 令和6年2月1日～2日
- ・ 視察内容 議会DXの取組み(SNSを活用した情報発信等)
第18回目の宮崎市議会、躍進の先駆者としてマニフェスト大賞で「躍進賞 優秀賞」を受賞 2023-11-10

宮崎市の概要

宮崎県の南東部にある市。宮崎県の県庁所在地及び県内で人口が最多の市中核市に指定されている。フェニックス・シーガイア・リゾート、青島、プロ野球・プロサッカーキャンプといった数多くの観光資源を持つ観光都市でもあり、九州・沖縄地方では大分市に次いで6番目に人口が多い。1998年(平成10年)から中核市である。

人口 396,955人 面積 643.67km²

宮崎市議会議員定数 40人 議会事務局 職員 18人 会計年度任用職員 2人

令和5年度予算総額 3,278億1,600万円(一般会計 1,814億8,000万円)

高齢化率(65歳以上) 29.2%

直近2回の選挙投票率 2019年 36.55%、2023年 38.34%

国が示す「自治体DX推進計画」や「自治体DX推進手順書」を踏まえ、「宮崎市デジタルチャレンジ宣言」を実現するための基本的な取組の方向性や取組内容を示すことを目的とし、「宮崎市DX推進方針」を策定した。本市は、「市民」「地域」「市役所」の各分野で、デジタル技術を最大限活用して、市民一人ひとりが豊かに暮らせるまちづくりに果敢に挑む「宮崎市デジタルチャレンジ宣言」を踏まえて、宮崎市議会DXプロジェクトを発足し、年々、投票率や議員のなり手不足等の問題解決に向けて、大きな原因の一つに、住民とのコミュニケーション不足があげられると考え、特にコロナ禍の影響で行動が制限される中、今までとは異なるアプローチで現状を打破する必要性を踏まえ、時代に即したコミュニケーションの確立によって「新しい議会」のカタチを作るべく、議長をリーダーにプロジェクトチームを発足した。

令和元年度からの取組みを以下に記す。

- ・ 財源確保・組織体制の環境整備
- ・ 議員のデジタルスキルの向上
- ・ インターネット議会中継・一般質問終了後の30秒インタビュー
- ・ SNSを活用しての活動報告
- ・ 議会案内動画・議会報告会ライブ配信(オンラインで質問の受付)
- ・ 議員のプロフィール

【DX推進以外】

- ・ 子ども議会を学校で開催
- ・ 高校生との意見交換会
- ・ Gcomと舄肥社中が共同開発した「まちだん」を活用して、3者で「地方議会DX実証実験・研究にかかる連携協定」を締結

5. 宮崎市議会DX みやだん

デジタル技術で、開かれた議会を実現する仕組み



- ・ SNS を活用しての情報発信にはアンバサダーを募集して閲覧拡大を図る

市民公開開始_アンバサダー委嘱式



令和4年8月
8月5日より市民との実証実験スタート

- ・ 一般質問終了後の 30 秒動画

一般質問後の30秒感想



令和4年9月
感想動画の撮影・公開





・旧庁舎となることが決定した議会議事堂



※考察

取り組み自体については、大変素晴らしい内容である。特に、画像の三点と、議場のモニター若しくはスクリーン設置について、更に研究して日出町議会に反映できるよう検討していきたい。

今後の日出町議会としては、費用対効果が特に問われると考える。イニシャルコスト・ランニングコスト、目標値とスケジュール等をマイルストーンチャートに落とし込み、誰もが進捗状況を確認出来る事の必要性を強く感じた。また、町民アンケートの集約結果をもとに、議会の目的に合致していることと併せて、アクティブユーザー数が多いSNSの選択次第では現行存在するツールで十分であると考え。但し、コミュニケーションを活性化させる働きが強い一方、立場や意見が違う者同士を排除する閉鎖性が強いツールであることが指摘されるようになった昨今、スピード感をもって推進しなければならない一方で、ニーズにアジャスト出来るスキルと、十分な検討をおこない推進することの、相反する両面から適性なメソッド選択等、時宜を得た取り組みとなるよう新たなステージに挑戦したいと考える。